

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2018年												2019年																		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~3日	11月 ~10日	11月 ~17日	11月 ~24日	12月 ~1日	12月 ~8日	12月 ~15日	12月 ~22日	12月 ~29日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	56	46	78	65	87	128	102	107	157	62	14	11	15	9	23	26	18	17	7
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	85	81	77	69	51	59	51	37	85	46	13	7	10	11	3	12	5	10	9
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	5	3	11	6	3	11	5	12	18	9	4	3	2	4	7	2	1	0	3
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	10	9	12	13	14	24	11	17	15	8	2	2	4	2	7	4	6	4	5
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	22	16	22	14	11	12	18	12	15	10	4	2	1	3	1	3	0	3	3
腸炎ヒブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0	0	1	0	0	3	1	2	4	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	2	3	2	9	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	23	23	11	11	2	5	0	1	1	0	0	1	3	2	0	1	6	8	4

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和元年第52週(12月23日~12月29日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市	
一類	0	発生なし	0								
二類	12	結核	12	2		2	1	1		6	
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1					1			
四類	0	発生なし	0								
五類全数	19	アメーバ赤痢	2			1			1		
		急性脳炎	3			1	1		1		
		ジアルジア症	1					1			
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	2			1		1			
		侵襲性肺炎球菌感染症	1					1			
		梅毒	3					1			2
		百日咳	7	1	2			3			1

注) 西部…大竹市, 廿日市市, 府中町, 海田町, 熊野町, 坂町, 安芸高田市, 安芸太田町, 北広島町, 江田島市
東部…三原市, 尾道市, 世羅町, 府中市, 神石高原町
西部東…竹原市, 東広島市, 大崎上島町
北部…三次市, 庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

1. インフルエンザ

定点当たり21.4人の報告があり、多い状況が続いています。今後、さらに流行が拡大する可能性があるため、注意が必要です。

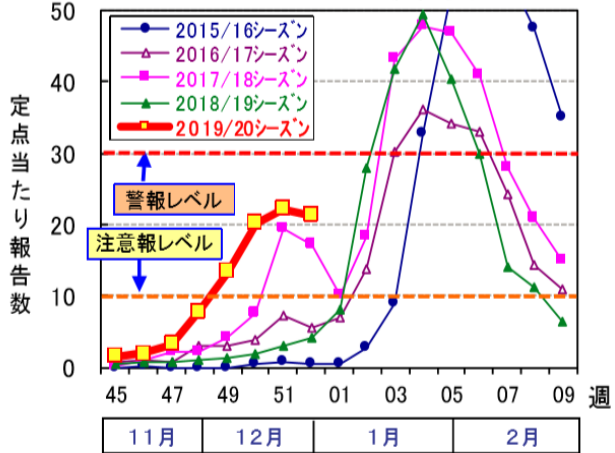
十分な休養とバランスの取れた食事を心がけ、流水・石けんによる手洗い、咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持、人混みへの外出は控えるなどインフルエンザ対策を徹底しましょう。

2. 感染性胃腸炎

定点当たり7.42人の報告がありました。また、感染性胃腸炎の集団発生が1件報告されています。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、特に冬季に流行するため、注意する必要があります。

インフルエンザの流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(過去5年間)	発生記号
小児科	インフルエンザ	792	21.41	10.37	⇒	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.44	
	咽頭結膜熱	12	0.50	0.29	⇒		RSウイルス感染症	7	0.29	0.70	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	50	2.08	2.12	⇒	眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
	感染性胃腸炎	178	7.42	10.84	⇒		流行性角結膜炎	3	0.38	0.58	
	水痘	11	0.46	0.70	⇒	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	手足口病	7	0.29	0.47	⇒		無菌性髄膜炎	-	-	0.03	
	伝染性紅斑	18	0.75	0.37	⇒		マイコプラズマ肺炎	1	0.14	0.23	
	突発性発しん	8	0.33	0.37	⇒		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	ヘルパンギーナ	2	0.08	0.03	⇒		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.14	

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (青) 前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減

横ばい ⇔ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	148	男性(60歳代)
3	腸管出血性大腸菌感染症	1	18	女性(50歳代)・O157・市外
5	ジアルジア症	1	1	男性(40歳代)
5	侵袭性インフルエンザ菌感染症	1	3	男性(10歳代)
5	侵袭性肺炎球菌感染症	1	27	女性(40歳代)
5	梅毒	1	74	女性(30歳代)
5	百日咳	3	95	男性(10歳未満)、男性(10歳代)、女性(10歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.0)	8	男	2019/11/24	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	嘔吐 下痢	1	男	2019/10/22	糞便	ノロウイルス1型 サボウイルス
流行性角結膜炎	結膜充血 眼脂 痒感	31	女	2019/10/23	結膜擦過物	アデノウイルス56型
その他の呼吸器疾患	発熱(40.0) 気管支炎 肺炎	1	女	2019/11/09	咽頭拭い液	ヒトメタニューモウイルス

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載